

ビブリオバトル開催しました!

十一月五日曜日、石垣祭二日目に十八号館のラーニング commons にて、FOBUUL主催第一回ビブリオバトルを行いました。



告知期間が短かったため、発表者は三人、観覧者は十人程度の小規模なもの。しかし、和気あいあいとした雰囲気の大会となりました。

紹介された本は、一人目は『ロードロス』で、キャラへの愛をたっぷりと、二人目は『浜村渚の計算ノート』。三人目は『新釈 走れメロス』。イギリスのダークファンタジー児童書に、推理小説、近代日本文学の名作のパロディ短編集と、バラエティ豊か。発表者は、公式ルールの五分間に苦戦しているようでしたが、時間いっぱい本について熱く語ってくれました。

激闘の末、今回チャンプ本に選ばれたのは、『新釈 走れメロス』。しかし、どの発表も、作品愛のあふれた素晴らしいものでした。紹介された本は手に入りやすく、『ロードロス』は図書館にもありますので、興味がありましたら是非読んでみてください。また、ビブリオバトルに興味を持たれた方は、来年も開催みてください。(和田)



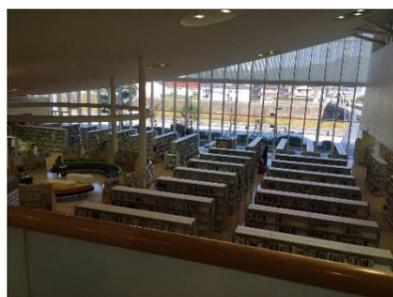
図書館見学ツアーに行ってきました!

十一月十二日に図書館見学ツアーに参加してきました。FOBUUL部員からは五名参加しました。今回の見学先は、宮若市立図書館と西南学院大学図書館でした。

最初に訪れた宮若市立図書館は、様々なイベントを行っていて、地域の人に本に触れ合ってもらう機会を設けています。また館内は、宮若市出身のリリー・フランキーさんがデザインした「リコリス」というキャラクターが館内の各所にいたり、児童書と一般書で床の色が違っていたり館内に所々工夫がありました。

次に見学した西南学院大学図書館は、今年四月にオープンしたばかりで、地上七階建てで充実した設備が整っていました。館内の所々に三人のアーティストに作ってもらったアートがあって興味深かったです。

今回のツアーで、県外の図書館を見学することができて勉強になりました。同じ図書館でも、全く異なっていて各図書館で取り組み方も違っていました。次回も参加する気満々です。皆さんもぜひ参加してみてください。(樋口)



宮若市立図書館館内

リリー・フランキー → が作ったキャラクター「リコリス」



西南学院大学図書館館内

発表ができる → スペース



教えて! 面白い本

今回オススメするのは、ひとしずくPさんのBad End Nightです。主人公である女の子のミクとはある劇団の一員で、クレイジー・ナイトという劇を演じていました。しかし、劇の最中に仲間と口論になり、階段から転落してしまいます。その瞬間、仲間達とともにクレイジー・ナイトの世界に飲み込まれてしまいます。その世界ではミクが事故にあい死ぬことがループしてしまいます。仲間達は繰り返し因果を止め、ミクを救い出し、現実世界に戻るため、永遠に繰り返す時間を必死で抗い続けます。なぜミクは死に続けるのか、裏切り者は誰なのか、この繰り返し続けている世界はいつたかなんなのか、つい考察してしまう作品です。是非、読んでみてください。(平川)



コラム

2017年10月1日、中国滨海新区に作られた図書館をご存知ですか? ミルフィーユ状になった天井から中央にある目のような球体がなんとも未来的で、えっ、ほんとに図書館? っていうくらいなる姿ですね。

壁の棚に実際に本が並んでいます。高いところは本の背表紙の壁紙のようです。120万冊が保管できる造りのようで、大分県立図書館の蔵書数が110万冊なので、比較してみてもそれなりに大きな図書館ですね。

そのめずらしさに、観光で訪れる人や、写真を撮る人も多岐にわたります。図書館としてだけでなく、建築物の観点からも価値が高いというのは、新しい図書館の形かもしれませんね。(清田)



終わりに

こんにちは。お布団から出なくなる季節がやって来ました。少し前に石垣祭がありました。FOBUULでは「ビブリオバトル」を開催しました。この企画をやるという話は先輩の先輩の先輩の、さらに先輩の代からあったそうで、今回ついに第一回を開催することができました。第一回目という事も、いくつもの改善点が見つかりましたが、それを生かして来年はより楽しく、より素晴らしい「ビブリオバトル」が開催できると思っているので、皆さん応援よろしくお願いします。現在進行形で参加者募集中です(笑)。それでは、FOBUULの皆さん、本当にお疲れ様でした。(本多)



記事: 清田桃花、本田政道、平川花帆、和田一花、樋口明里咲
編集: 樋口明里咲